

No.とプログラム名	No. 45 『情報の森』 冒険の心得を取材し、新聞にしよう！
実施日・回数	8月6日（火）、7日（水）、8日（木）午前・午後 計6回実施
会場	【中区】 ニュースパーク（日本新聞博物館）
参加児童数	73人
企業・団体等名	ニュースパーク（日本新聞博物館）
参加の目的 (150文字程度)	「取材して記事にまとめて新聞を作る」という体験を通して、子どもたちに新聞記者の仕事を知ってもらうとともに、新聞を身近に感じてもらいたい。また取材テーマを「『情報の森』を冒険するのに必要な心得（情報リテラシーに関する展示）」とすることで、たくさんの情報があふれる現代社会において、情報とのつきあい方を知ってほしい。

2

■ プログラム内容

ニュースパーク（新聞博物館）で「情報の森」を冒険するのに必要な心得（情報リテラシーに関する展示）を取材し、その結果を記事にまとめた新聞をパソコンで作成した。

■ 当日の流れ

新聞製作マネジャーから「新聞とは・取材の仕方」のレクチャーを受けたのち、館内で取材。次に「記事のまとめ方、見出しのつけ方」のレクチャーを聞き、パソコンを使った新聞づくりに挑戦した。

■ 児童の活動中の写真①



新聞製作マネジャーから、取材の仕方や記事のまとめ方などのレクチャーを受けた



職員の説明を聞きながら、「情報の森」を冒険するのに必要な心得を取材した

3

■ 参加児童の様子や意見、感想など

参加者は真剣に話を聞き、メモを取っていた。分からないことは自分から質問する姿勢も見られた。アンケートでは、参加者、保護者を含め、「自分の考えを分かりやすく伝えることは大切だと思った」「分かりやすく解説してくれて主体的に参加している様子が見られた」「新聞記事だけでなく、書くことを短くまとめるときにも役立つ情報だった」「子どもに調べることの大切さを知ってもらえて良かった」「情報があふれる社会で大人になっていく子供たちに、気づきを与える良い機会となった」などの感想が寄せられた。振り返り会では「楽しかった」「また新聞を作りたい」などの感想が出た。

■ 児童の活動中の写真②



取材後はパソコンを使い、記事にまとめ、見出しを付けて新聞づくりに挑戦した



全員が自分だけの新聞を完成させた。完成した新聞はプレゼントした

4

■ 企業・団体の気付きや感想など

子どもたちの真剣さが印象的だった。アンケートでは、子どもたちに「体験させたい」「学ばせたい」との保護者の思いを知ることができた。パソコンが苦手な子ども向けに手書きの新聞も用意したが、全員がパソコンで作成した。こうした機器の浸透をあらためて感じた。

■ 学生サポーターの気付きや感想など（学生受入れ企業・団体のみ）

子どもたちの楽しい思い出になるように、との気配りや配慮を感じた。振り返り会の司会も、こちらの進行などを参考にじぶんで工夫し、子どもたちが自分から発言できる雰囲気を作ろうとする意欲を感じた。



分からないことは都度、スタッフや新聞制作マネジャーがサポートした



振り返り会では、積極的に手を挙げて感想を発表した。2回発表した児童もいた